

<b>学校教育目標</b>	夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小学校				
	知: 考えて よく励み やりぬく子を育てます。 徳: なかよく つよく のびゆく子を育てます。 体: 健康な肩を組み 互いのいのちと体を大切にする子を育てます。 公・開: 自立の意気を見せ 日本の明日を担う子を育てます。				
<b>学校概要</b>	創立 118 周年	学校長	金子 孝	副校長	沖 なおみ
	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4			
児童生徒数: 553 人	主な関係校: 笹下中学校、上大岡小学校、南台小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
チャレンジする心 ・思いや願いをもって主体的に行動する。 人とつながる力 ・人とかかわりを大切にし、それをつないだり、広げたりする力を育てる。	笹下中学校 南台小学校 上大岡小学校	・人とのつながりを大切にし、自他を思いやった言動のとれる子 ・失敗を恐れず、自信をもって何事にもチャレンジできる子 ・「9年間で育成を目指す資質・能力」について各校で具体的な年間計画を作成し、全職員で共通理解を図る。 ・「3つのつながり」を各校の特色をふまえて9年間のプロセスを明確にする。 ・一人ひとりの教職員が「じっくり考え高め合い次につなげる確かな学び」に向けて授業回線を図る。

<b>中期取組目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員は、子どもがいきいきと自信をもって学べる学校づくりを推進します。</li> <li>・異学年ペア活動を通して子どもが自分のよさや友達のよさを認め合い、高め合えるように寄り添った指導をします。</li> <li>・地域の教育力を活用し、子どもに豊かな教育活動が提供できるようにします。</li> <li>・地域のあいさつ運動と連携して、自ら進んであいさつができる子どもを育てます。</li> <li>・児童指導の課題、いじめ防止について教職員で共有し、チームで対応する体制づくりを整えます。</li> </ul>
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 評価部会	・知識・技能を身に付けるとともに、それを活用して主体的に問題解決できるように授業づくりを進めます。 ・協同的な学習の場を取り入れ、他者との意見交換等ができるようにします。ICT機器の活用を積極的に進め、問題解決の方法や表現力を広げられるようにします。
<b>豊かな心</b> 担当 児童指導委員会	・特別の教科道徳の授業において、身近な課題を自分事としてとらえ、道徳的価値に近づけるように授業を進めます。 ・ペア活動を通して、それぞれの学年のよさを互いに認め合え、尊重する気持ちを育てます。 ・地域のあいさつ運動と連携して、あいさつが自然にできる子ども育成を目指します。
<b>健やかな体</b> 担当 体力向上委員会	・委員会活動等で外遊びを中心とした集会を計画し、積極的に運動する機会を設定します。また、第2校庭の活用も積極的に行い、運動機会を増やします。 ・定期健康診断の結果をもとに、自分の体について理解するとともに、自分の体を大切にするために正しい生活習慣が身につくように支援します。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	・個別取り出しの枠を広げて、一人ひとりのニーズに合った学習支援に取り組みます。 ・国際教室を活用して、外国籍や外国につながる児童の学習指導やコミュニケーション活動の支援をしていきます。
<b>児童生徒指導</b> 担当 児童指導委員会	・一つひとつの事案に丁寧に対応し、児童に寄り添った指導を行います。また、情報を教職員全体で共有し、児童の課題を把握し、迅速に対応するとともに未然防止に努めます。 ・日下小スタンダードを全職員で共有し、児童にルールやきまりを守る姿勢を育てます。
<b>地域連携</b> 担当 教務部	・地域のあいさつ運動と連携し、あいさつの習慣を身に付け、コミュニケーション能力を高めます。 ・野菜作り等地域の教育力を活用し、子どもに豊かな教育活動が提供できるようにします。 ・学援隊と連携して、登下校の子ども安全見守りを協力して行います。
<b>自分づくり教育</b> 担当 評価部会	・自分のよさや友達のよさを認め合い、お互いによいところを伸ばし合えるように異学年ペア活動を充実させます。 ・各学年ごとに目標を設定したり、振り返り活動をしたりして自分の成長を実感し、将来の夢について考えられるようにします。
<b>人権教育</b> 担当 人権教育部会	・協同的な学習の場面を積極的に取り入れ、自分や友達のよさや考え方の違いなどを認め合い尊重できるように支援します。 ・一人ひとりの学びを大切にし、いろいろな考え方を安心して出し合い、認め合えるように授業を工夫します。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	・毎月のいじめ防止対策委員会で、教職員で情報共有し、いじめの早期発見と迅速な対応に努めます。 ・児童に生活アンケート年2回実施し、実態把握をすすめ、いじめの感覚を養い未然防止に努めます。
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務部	・メンターチーム研修を定期的に行えるように位置付け、目的を明確にした内容を計画・実施します。 ・必要な情報は文書ではなく、データで管理し、いつでも閲覧できるようにします。 ・学年研究会を充実させ、教材研究、教材開発等共有することで授業づくりの効率化と授業力向上に努めます。